

## 平成 21 年度 事業 報告

### (1) 実務修習の実施状況等

#### ① 実務修習生の在籍状況

第 4 回実務修習は平成 21 年 12 月から、299 名の実務修習生を迎えて実施されております。第 4 回実務修習生を加えた平成 21 年 12 月 1 日現在の実務修習生の在籍総数は 646 名で、その内訳は次表のとおりです。

回 コース	第 1 回 実務修習生数	第 2 回 実務修習生数	第 3 回 実務修習生数	第 4 回 実務修習生数
1 年	26	33	123	201
2 年	15	55	83	95
3 年	5	3	4	3
小計	46	91	210	299

#### ② 各課程の実施状況

実務修習の各課程の実施状況は、次のとおりです。

なお、実務修習生の各課程の単元の認定に当たっては、実務修習審査会を 10 回に亘り開催し、課程別の審査基準に基づき、それぞれ適正に審査を実施いたしました。

ア. 不動産の鑑定評価の実務に関する講義（以下、「講義」という。）

	開催日	開催場所	主な対象者
後期	平成 21 年 6 月 8 日（月） ～6 月 12 日（金）	ベルサール神田	第 3 回修習生
前期	平成 21 年 12 月 7 日（月） ～12 月 11 日（金）	ベルサール汐留	第 4 回修習生

イ. 基本演習

	開催日	開催場所	主な対象者
第二段階	平成 21 年 5 月 14 日（木） ～5 月 16 日（土）	ベルサール八重洲（東京）	第 3 回修習生
	平成 21 年 5 月 21 日（木） ～5 月 23 日（土）	天満研修センター（大阪） （※参照）	第 3 回修習生
第三段階	平成 21 年 8 月 20 日（木） ～8 月 22 日（土）	ベルサール神保町（東京）	第 3 回修習生
	平成 21 年 7 月 30 日（木） ～8 月 1 日（土）	アクスネットうめだ（大阪）	第 3 回修習生
第一段階	平成 22 年 3 月 4 日（木） ～3 月 6 日（土）	ベルサール六本木（東京）	第 4 回修習生
	平成 22 年 3 月 18 日（木） ～3 月 20 日（土）	チサンホテル神戸（兵庫）	第 4 回修習生

※ 基本演習第二段階（大阪会場）については、新型インフルエンザの発生により、集合しての演習を中止し、机上演習及び東京において補講を行うことで代替といたしました。

#### ウ. 実地演習

実務修習生の物件調査実地演習及び一般実地演習の報告は、1年を3期に分け、実務修習生が選択した実務修習期間別に報告が行われました。

#### (2) 修了考査の実施

第3回修了考査は、平成22年1月25日（月）から1月29日（金）にかけて5日間連続で実施いたしました。実務修習の全課程を修得した実務修習生226名が受験し、212名の実務修習生が実務修習を修了されました。

#### (3) 平成21年度実務修習実施計画の公表

実務修習業務規程第6条に基づき、第4回実務修習の実施に向けて、「平成21年度実務修習実施計画」を策定し、平成21年9月に本会ホームページにおいて公表いたしました。

#### (4) 実務修習教材の作成

第4回実務修習に向けて、講義、基本演習及び実地演習の各課程の教材が、適正且つ最新の内容となるように検討を行い、各課程のテキストを改訂・作成いたしました。

#### (5) 一般実地演習の報告様式等の改定について

第3回実務修習・一般実地演習の実施結果を踏まえ検討を行い、「実地演習報告内訳書」及び「用語の定義」を改定いたしました。

#### (6) 実務修習業務規程の改正について

実務修習開始当初は、申込者数が多いことが想定されたことから、実務修習業務規程附則に経過措置規定を設けて、審査及び修了考査の担当委員数を増員する対応を図って参りましたが、当初の想定以上に委員の業務負担が大きいこと等から、当該経過措置期間の終了に伴い、審査及び修了考査の担当委員数を現行数と同じとするように実務修習業務規程を改正いたしました。

平成21年度実務修習特別会計収支決算書

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

収入総額 142,054,731 円  
 (内前期より繰越金 40,923,231 円)  
 支出総額 88,824,589 円  
 差引繰越金 53,230,142 円

収入の部

単位:円

大科目	中科目	予算金額	実績金額	過不足金額	説明
修習料収入		94,900,000	93,704,000	1,196,000	第4回申込者299名
	講義料収入	37,170,000	37,030,000	140,000	第3回7万円×231名 第4回7万円×298名
	基本演習収入	34,530,000	34,050,000	480,000	第3回9万円×216名(辞退者分含む) 第4回5万円×296名
	審査料収入	23,200,000	22,624,000	576,000	みなし履修審査料・一般実地演習審査料 物件調査審査料
修了考査料収入		7,500,000	6,780,000	720,000	第3回修了考査受験者226名
	修了考査料収入	7,500,000	6,780,000	720,000	3万×226名
雑収入		500,000	647,500	△147,500	
	雑収入	500,000	647,500	△147,500	テキスト頒布及び 実務修習生証再発行手数料
当期収入額合計 (A)		102,900,000	101,131,500	1,768,500	
前期繰越収支差額		40,923,231	40,923,231	0	
収入額合計 (B)		143,823,231	142,054,731	1,768,500	

支出の部

単位:円

大科目	中科目	予算金額	実績金額	過不足金額	説明
事業費		95,000,000	66,458,268	28,541,732	
	会場費	40,000,000	26,398,694	13,601,306	
	教材費	10,000,000	8,148,692	1,851,308	
	講師謝金	12,000,000	9,517,350	2,482,650	
	審査費	25,000,000	17,481,545	7,518,455	
	印刷費	2,500,000	2,022,688	477,312	
	郵送費	3,000,000	1,914,163	1,085,837	
	システム運用費	1,000,000	868,421	131,579	
	旅費交通費	500,000	86,240	413,760	
	雑費	1,000,000	20,475	979,525	
管理費		22,700,000	22,366,321	333,679	
	人件費	15,000,000	16,288,970	△1,288,970	主任研究員他負担増のため
	賃借料	4,000,000	3,934,740	65,260	
	通信交通費	1,200,000	869,885	330,115	
予備費	事務雑費	2,500,000	1,272,726	1,227,274	
	予備費	26,123,231	0	26,123,231	
当期支出額合計 (C)		143,823,231	88,824,589	54,998,642	
当期収支差額 (A)-(C)		△40,923,231	12,306,911	△53,230,142	
次期繰越収支差額 (B)-(C)		0	53,230,142	△53,230,142	

正味財産増減計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
修習料収入	93,704,000	81,202,000	12,502,000
講義料収入	37,030,000	31,500,000	5,530,000
基本演習収入	34,050,000	27,990,000	6,060,000
審査料収入	22,624,000	21,712,000	912,000
修了考査料収入	6,780,000	9,000,000	△ 2,220,000
修了考査料収入	6,780,000	9,000,000	△ 2,220,000
雑収益	647,500	1,192,000	△ 544,500
雑収入	647,500	1,192,000	△ 544,500
経常収益合計	101,131,500	91,394,000	9,737,500
(2)経常費用			
事業費	66,458,268	73,582,045	△ 7,123,777
会場費	26,398,694	30,131,696	△ 3,733,002
教材費	8,148,692	7,900,907	247,785
講師謝金	9,517,350	10,865,405	△ 1,348,055
審査費	17,481,545	19,833,323	△ 2,351,778
印刷費	2,022,688	2,053,122	△ 30,434
郵送費	1,914,163	1,992,334	△ 78,171
システム運用費	868,421	0	868,421
旅費交通費	86,240	86,240	0
雑費	20,475	719,018	△ 698,543
管理費	22,366,321	21,411,209	955,112
人件費	16,288,970	14,899,964	1,389,006
賃借料	3,934,740	3,909,900	24,840
通信交通費	869,885	1,041,800	△ 171,915
事務雑費	1,272,726	1,559,545	△ 286,819
予備費	0	0	0
予備費	0	0	0
経常費用合計	88,824,589	94,993,254	△ 6,168,665
当期経常増減額	12,306,911	△ 3,599,254	15,906,165
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	12,306,911	△ 3,599,254	15,906,165
一般正味財産期首残高	40,923,231	44,522,485	△ 3,599,254
一般正味財産期末残高	53,230,142	40,923,231	12,306,911
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	53,230,142	40,923,231	12,306,911

貸借対照表

平成22年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	115,963,891	93,732,845	22,231,046
前払金	8,560,751	2,658,159	5,902,592
流動資産合計	124,524,642	96,391,004	28,133,638
2.固定資産			
(1)特定資産	0	0	0
(2)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	124,524,642	96,391,004	28,133,638
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	71,088,000	54,676,000	16,412,000
預り金	206,500	791,773	△ 585,273
流動負債合計	71,294,500	55,467,773	15,826,727
2.固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	71,294,500	55,467,773	15,826,727
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
2.一般正味財産	53,230,142	40,923,231	12,306,911
正味財産合計	53,230,142	40,923,231	12,306,911
負債及び正味財産合計	124,524,642	96,391,004	28,133,638

財産目録

平成22年3月31日

単位:円

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金	みずほ銀行虎ノ門支店	115,963,891	
前払金	実務修習会場予約金	8,560,751	
流動資産合計			124,524,642
2. 固定資産			
(1) 特定資産		0	
(2) その他固定資産		0	
固定資産合計			0
資産合計			124,524,642
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前受金	平成22年度実務修習受講料	71,088,000	
預り金	源泉税	206,500	
流動負債合計			71,294,500
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			71,294,500
正味財産			53,230,142

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」(平成16年10月14日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

#### (2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

### 2. 収支計算書の資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、前払金、仮払金、前受金、未払金、及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は次のとおりである。

単位:円

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	93,732,845	115,963,891
前 払 金	2,658,159	8,560,751
合 計	96,391,004	124,524,642
前 受 金	54,676,000	71,088,000
預 り 金	791,773	206,500
合 計	55,467,773	71,294,500
次期繰越収支差額	40,923,231	53,230,142